

オーケーが関西の食品スーパーナカガワを買収か／フーコットVSベルク秩父で激突

激流

MONTHLY GEEKIRYU MAGAZINE

流通情報誌
月刊 激流

2022年10月1日発行(毎月1回1日発行)
第47巻第10号 通巻560号

10
2022

生協 次世代シフト 本格始動

日本生協連、コープさっぽろ、みやぎ生協、コープデリ連合会、
パルシステム連合会、ユーコープ、
コープあいち、とやま生協、コープこうべ、エフコープ

クレオ「洗浄機」「洗浄剤」 洗浄の一貫体制を整え 現場の衛生をトータルサポート

コンテナ・パレット・オリコンなど
容器洗浄機で六割以上のシェアを持つ

食品を入れるコンテナなど容器の衛生レベルの向上は、安全・安心な食品の提供に不可欠だ。クレオは食品を中心とした製造・物流現場で使用する容器の洗浄機を提供している。

同社は一九七六年の創業以来一貫して食品工場の衛生に携わってきた。小売業や卸売業、物流企業などでも高く評価され、容器を洗浄する洗浄機市場で六割以上のシェアを誇り、一万拠点以上で採用されている。洗浄に関して長年培ったノウハウが食品業界を中心に厚く支持されている。

例えば、某食品スーパーのプロ

セスセンター（PC）では、食品を入れるコンテナを一日に五万个程度も扱うが、安全・安心な食品を提供するためにコンテナも常にきれいに洗浄されている。その際に力を発揮するのがクレオの容器洗浄脱水機で、一時間に二〇〇〇枚程の容器を洗って一気に脱水するので、すぐにきれいなコンテナを使用することができる。洗浄機の導入にあたっては事前に工場でのラインを組んで試運転してから搬入するので、数日で稼働できる体制も整えている。

また衛生レベル向上に欠かせないのが洗浄剤。クレオでは洗浄機用洗浄剤に加え、スライサーなどの製造機器や、フード、床など工場内の清掃で使用する様々な洗浄

剤を取り扱い、衛生に厳しいコンビニの惣菜工場などにも採用されている。さらに従業員の清掃では手の行き届かない様々な設備でのリセット洗浄も提供し、工場内全体の衛生に携わっている。足元ではフリーザー自体の清掃や、その洗浄剤への問い合わせが増えているという。

名倉豊夫社長は「当社は洗浄機だけではなく、洗浄剤、殺菌水生成装置など様々なツールを取り扱っており、洗浄対象物の汚れに応じて最適なツールを、洗浄方法とセットでご提案します。その範囲は容器などの洗浄機に限らず、製造機器など工場全体の衛生関連のお悩みはすべて当社にお任せください」と力を込める。

現場第一主義で
全国にサービスネットワークを構築

洗浄機、洗浄剤といったハード面だけでなく、洗浄を極めるサニ



洗浄後に熱エネルギーを使用せず一気に水切りする「容器洗浄脱水機」

回チェックする定期巡回部隊、衛生の課題を解決するサニテーション部隊、機械の不具合を解決する修理部隊を各拠点に配置。地域に密着した各部隊が連携し、ユーザーの様々なニーズや悩みをいち早く解決する一貫体制を整えている。「お客様からは『洗浄機、洗浄剤がほしい』という声をお聞きするが、ニーズの本質は『工場内の衛生レベルを上げたい』という部分です。そういったニーズに全国どこでもすぐに現場に対応できることが圧倒的なシェアをいただいている要因だと自負しています」と名倉社長は洗浄・衛生全般に関する自信を示した。

クレオは「省人化」「安全・安心」「CO₂削減」「食品ロス削減」のサステナビリティをテーマに掲げ、九月の国際物流総合展とフードセーフティジャパンに出展。物流業界向けにコンテナやパレットなど、食品製造業界向けに食材や器具などの衛生に関する悩

洗浄機 無償チェックレポート

項目	内容
1. 洗浄機の種類	容器洗浄機、パレット洗浄機、オリコン洗浄機
2. 洗浄剤の種類	容器洗浄剤、パレット洗浄剤、オリコン洗浄剤
3. 洗浄機の使用状況	洗浄機の使用回数、洗浄剤の使用量
4. 洗浄機の使用場所	工場内、倉庫内、物流センター
5. 洗浄機の使用目的	容器の洗浄、パレットの洗浄、オリコンの洗浄
6. 洗浄機の使用効果	洗浄機の使用による効果、洗浄剤の使用による効果
7. 洗浄機の使用コスト	洗浄機の使用コスト、洗浄剤の使用コスト
8. 洗浄機の使用リスク	洗浄機の使用リスク、洗浄剤の使用リスク
9. 洗浄機の使用メリット	洗浄機の使用メリット、洗浄剤の使用メリット
10. 洗浄機の使用デメリット	洗浄機の使用デメリット、洗浄剤の使用デメリット

洗浄機の無償チェックレポート



容器洗浄機の清掃マニュアル



洗浄機のリセット洗浄



衛生講習会を実施して従業員の衛生に関する知識、意識の向上を図る

みの解決策を提案していく。このサステナビリティをテ

マに小売業やメーカーの光熱費が高止まりしている中で、水や電力、熱量などのエネルギーを効率よく使う洗浄機の提案にも力を入れていく。工場やPCの人手不足が深刻化していることから、洗浄機の前後工程の自動化も推進。名倉社長は「省人化、さらに無人化を進めるための洗浄機のニーズが高まっています。そして熱エネルギーを再利用できる省エネルギーの新たな洗浄機を開発、提案していきます」と今後の展望を語った。



クレオの名倉豊夫社長

テーション技術のソフト面から衛生をサポートしている。同社の洗浄剤を使用すれば、定期的に無償チェックの巡回サービスを実施。洗浄機の状態確認や洗浄評価で衛生周りの注意事項をまとめ、報告書として毎回提出する。また現場で作業する従業員を対象に、衛生レベルが低下するリスクや洗浄剤の使用方法などをテーマにした衛生講習会を実施し、衛生に対しての知識・意識の底上げを図っている。

「当社は現場第一主義でユーザー様と一緒に衛生課題を解決し